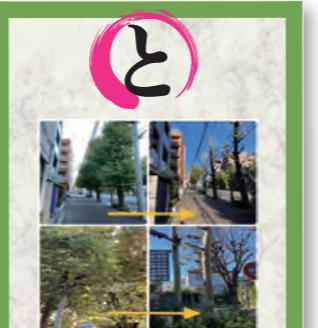
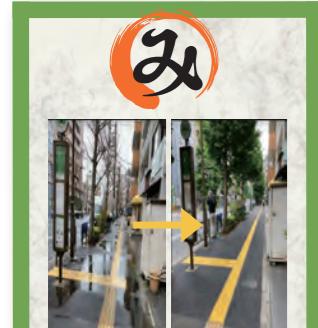


皆様から身近なお困りごとのご相談を頂き、都政・国政とも連携して、一つひとつお応えして参りました。文京区が競技かるた発祥の地であることにちなみ、宮本伸一の実績の一部を「かるた」風に紹介させて頂きます。

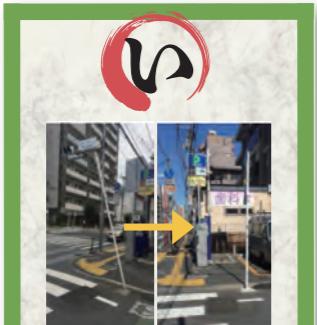


み ずたまりが都バス停留所付近にできて困っているの、なんとかなりませんか?とのお声に、雨天時に現地調査。都議会の長橋けい一都議に相談し、第6建設事務所に改善を依頼。梅雨入り前の5月下旬には改修してもらいました。

や さしい街づくりのためのパリアフリー工事で、点字ブロックの一部が隠れてしまった。視覚障がいの方が困っていたので手助けしたのよ、とのお声を頂きました。早速、担当課に相談し、すぐに緊急修繕をしてもらいました。

も ともと見通しの悪いT字路。しかも一方は下り坂で危険!とのお声。現地調査をして、担当部署に相談。善後策を検討してもらい、カーブミラーを設置。「安全確保が出来るようになり良かったよ!との喜びの声を頂戴しました。

と (都)道のいちょうの落ち葉の片づけや、道路上に落ちた銀杏のにおいが...とのお声を頂きました。地域の負担を軽減しつつ景観保持もと、区と都の担当部署に相談。これからも街路の安全や公園の憩いを守り、心豊かな住環境を築いていきます。



しん (進)入禁止の標識が壊れて、大型車の侵入に迷惑している。道路沿いの住宅への接触事故も発生!とのお声。地域の安全と住民の皆様の大切な財産を守るために、現場を確認。区の担当者に相談し、修繕できました。

い まにも倒れそうな道路標識が危険!とのご連絡が。現場に直行。放置すれば、思わぬ事故にもつながりかねないと、早速、富坂警察に相談。迅速に修復してもらい、通行の安全を確保。地域の心配が解消されました。

その他にも皆様のお声にお応えしてきました

- シルバーピアでの給湯器の改修実現
- 交通・道路標識に覆いかぶさる樹木の剪定
- 「通り抜けできません!等、道路標識の設置および改修・修繕(再設置含む)
- 「保育園あり」等の道路ペイント、薄くなった横断歩道の再ペイント補修
- 夜間、暗く見通しの悪いT字路の路面に発光鉢を設置
- マンホールや点字ブロックの修復
- 幼児・青少年育成のために区立公園の整備、施設の充実

等々

公明党文京総支部ニュース
発行元:公明党文京総支部 TEL.03-5803-1318(直通) FAX.03-3813-9721 MAIL.info@komei-bunkyo.gr.jp

お手頃かつ安心の見守りサービスを実現!

月額1,078円が無料に



「一人暮らしの高齢者の様子が心配」とのお声に、**宮本伸一**区議は厚生委員会の一員として高齢者の見守り支援を一貫して推進。文京区では、昨年10月から「高齢者見守り電球サービス」を開始しました。委託事業者のヤマト運輸株式会社が、通信機能付きのLED電球を高齢者宅のトイレなどへ設置。24時間以上、通電が無い場合、ご家族等へメールで異常が通知されるものです。ご家族の代わりに委託事業者が代理訪問し、安否確認を行うことも可能です。文京区では、おおむね65歳以上の方を対象に、このサービス料1,078円を補助しています。

申し込み時の注意点などは、こちらのQRコードまで



応援補助金とスマホ教室の二刀流で強力バックアップ

防災情報や見守り支援の強化にスマホが欠かせない時代に、高齢者のスマホへの切り替えを支援する「シニア世代スマホデビュー応援補助金」。さらに、シルバー人材センター主催で「文京区高齢者向けスマホ講習会」。さらに、3月末まで、毎週火曜日、文京シビックセンター4階にてスマホ相談窓口が。詳しくは案内チラシをご覧ください。



大塚窪町公園にバスケットゴール設置

3年越しで中学生の願いを実現!



宮本伸一が区議になって間もない頃、中学生から手紙が。そこには、「学校以外でバスケットボールの練習をする場所がないので、区立の公園にゴールを設置してほしい」と。届いた手紙を手に、区の担当部署に要望。しかし、ドリブルする音が響くことへの抵抗などから、なかなか実現できずにいました。それ

でも「子どもたちの願いに全力で応えたい!」との強い心と、区の担当者の努力があいまって、3年越しで実現することができました。ゴールの周りには元気な子どもたちの歓声が響いています。これからもどんな小さな声にも真剣に耳を傾け、希望あふれる街づくりに取り組みます。

お気軽にご相談下さい!

ひとりよみらい
一人に寄りそい未来をひらく

み や も と し ん い ち

公式ホームページを
リニューアルしました!

公式LINE



文京区議会議員

宮本伸一



公明の提言で物価高対策・子育て支援が前進

政府が総合経済対策を決定

政府は昨年10月28日、物価高やコロナ禍の影響などから国民生活を守る「総合経済対策」(財政支出39兆円程度)を決定しました。対策には公明党の主張が数多く反映されています。主なポイントを紹介します。

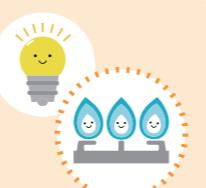
電気 月2,800円 都市ガス月900円など

光熱・燃油費4.5万円軽減

高騰する電気・ガス料金など光熱費の軽減対策。一般家庭の電気料金については現行料金の2割程度に相当する1kWh当たり7円、都市ガス料金は、1m³当たり30円の補助を行い、負担を抑えます(電気・ガスともに毎月の請求書に軽減額を表示)。また、ガソリンなどの燃油補助の継続を含めた価格抑制策を2023年1月から9月まで行い、標準家庭で総額4万5000円程度【別表参照】の負担軽減につなげます。

公明の主張でガス代も対象に

総合経済対策の策定を巡って公明党は、岸田文雄首相に対して国会質問や提言などを通じて「前例のない思い切った対策」を何度も要望してきました。これにより、政府が当初消極的だったガス代の負担軽減策が対策に盛り込まれました。



妊娠・出生時に計10万円 産前から伴走型の相談体制を充実

子育て支援の充実については、支援が手薄な0~2歳児に焦点を当てて、出産育児一時金の大幅な増額や、妊娠・出生届の提出時に各5万円(計10万円)相当の給付を検討。経済的支援を進めます。あわせて、“伴走型相談支援”を充実させ、妊娠期から出産・産後、育児期まで寄り添う相談体制を整備し、さまざまなニーズに即した支援につなげます。



総合経済対策の策定に向けた提言を岸田首相に申入れ

光熱・燃油費の負担軽減

電気代	家庭向け1キロ7円補助	2800円	毎月の軽減額(標準家庭)
都市ガス代	1立方m330円補助	900円	
ガソリンなど燃油代	1㍑補助額(上限35円)を調整しながら来年9月まで継続	1300円 計 5000円	

2023年1月~9月で総額4万5000円を軽減!

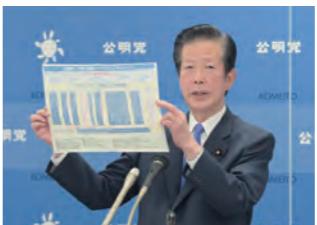
※「標準家庭」は、月平均使用量(電気400kWh、ガス30m³)で試算



少子化・人口減少の克服へ切れ目なく支える

公明、子育て応援トータルプランを発表

公明党は昨年11月8日、子ども政策を政治の柱に据えた社会の実現と、少子化・人口減少を克服するための具体策を示した「子育て応援トータルプラン」を発表。掲げた政策の実現に総力を挙げます。



記者会見で子育て応援トータルプランを発表する山口代表

トータルプランのポイントは、ライフステージや年齢などに応じた支援策【別表参照】を明記し、妊娠・出産から社会に巣立つまで、切れ目なく支える姿勢を明確にした点です。その上で、児童手当を18歳まで、子ども医療費無償化を高校3年生まで拡大(東京都は2023年度からスタート)することをめざします。このほか、不登校やヤングケアラーなど困難を抱える家庭への支援強化も掲げています。「安心して子どもを産み育てられる社会」の実現へ、子育て政策の充実が欠かせません。

ライフステージに応じた主な支援策

- 若者の経済的基盤の安定
- 選択的夫婦別姓の導入
- 不妊治療・不育症の支援
- 出産育児一時金の増額
- 育児休業制度の拡充など
- 産後ケアや訪問家事育児支援を展開
- 専業主婦も利用できる保育制度創設
- 地域の子育て支援拠点の推進
- 児童教育・保育の質・量の拡充
- 0~2歳児の保育料無償化の対象拡大
- 送迎バスを含めた安全対策の強化
- 就学援助の増額、段階的な対象拡大
- 学習支援など子どもの居場所づくり
- 将来的な小中学校の30人学級を推進
- 私立高授業料実質無償化の段階的拡大
- 1人1台タブレット端末を無償貸与
- 理工系に進学する女子生徒への支援
- 高等教育無償化を中間所得層へ拡大
- 貸与型奨学金の減額返還制度の拡充



公明党が推進!!

高3生世代まで医療費無償化 2023年度からスタートへ

東京都は医療費助成の対象を、2023年度から高校3年生世代(現在は中学3年生)まで拡充することを決定しました。このことはマスコミでも取り上げられ、「高校生の医療費助成は、都議会公明党が21年7月の都議選の公約に掲げ、都に要望を続けてきた」(22年1月25日付「読売」都内版)と報じられています。



インフルエンザ予防接種 高齢者の接種費が無料に

新型コロナとの同時流行が懸念される季節性インフルエンザ。都議会公明党が東京都に行った緊急要望が反映され、高齢者などの予防接種が無料(1回のみ)になります。

不妊治療の保険適用が開始 都が独自に先進医療を助成へ

2022年4月から不妊治療に対する保険適用が拡充される中、東京都は適用外となる「先進医療」に対し、1回の治療に付き15万円を上限に費用の7割を独自助成します。都議会公明党は全額自己負担となる先進医療への都独自の助成を提案していました。申請受付は23年1月開始ですが、22年4月以降の治療に助成されます。

さらに文京区では、公明党が実現を推進した区独自の不妊治療費(先進医療)助成事業も実施しています。